

大井川 庁舎

リニューアルオープン RENEWAL OPEN

大井川庁舎東側
● 大井川市民サービスセンター
● スマイルライフ推進センター
● 大井川チャレンジ など

大井川庁舎西側
● 教育センター

▶リニューアルのスケジュール

●令和4年12月 「健康見える化コーナー」「健診コーナー」開設



●令和7年3月13日(木) 「教育センター」開設

●令和9年1月 「スマイルライフ推進センター」開設

※スケジュールは変更となる場合があります。

教育機能の充実と

笑顔あふれる豊かな暮らしの社会を目指して

大井川庁舎は、令和3年度から改修工事を進め、令和4年度に「スマイルライフ推進センター」の第一次整備として、「健康見える化コーナー」・「健診コーナー」が整備されました。そして、3月13日(木)には、「教育センター」が旧大井川商工業研修センター跡地にリニューアルオープンし、教育機能の拠点として子どもの豊かな学びの創造や魅力ある教師育成の充実を図ります。

さらに令和8年度には、第二次整備として、市民サービス機能と併せ、健康維持と生きがいづくりの拠点施設となるよう大井川庁舎全体をリニューアルしていく予定です。

問合せ 公有財産課 ☎626-1139



詳しくはこちら

地域の拠点としての機能

■市民サービス機能

- 大井川市民サービスセンター
- 焼津公証役場
- 更生保護サポートセンター(支所)

■健康維持・生きがいづくり機能

- スマイルライフ推進センター

■教育機能

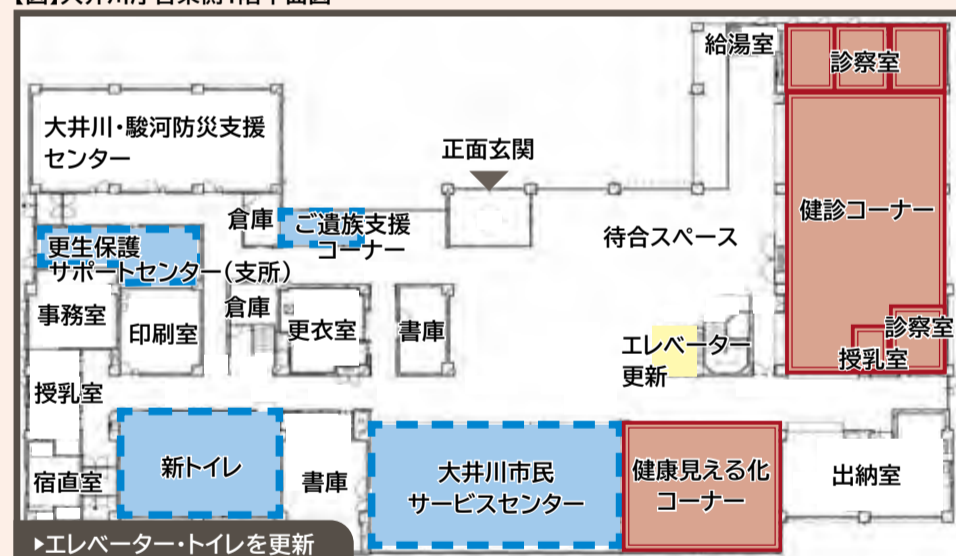
- 教育センター
- 大井川チャレンジ

平面図での区分

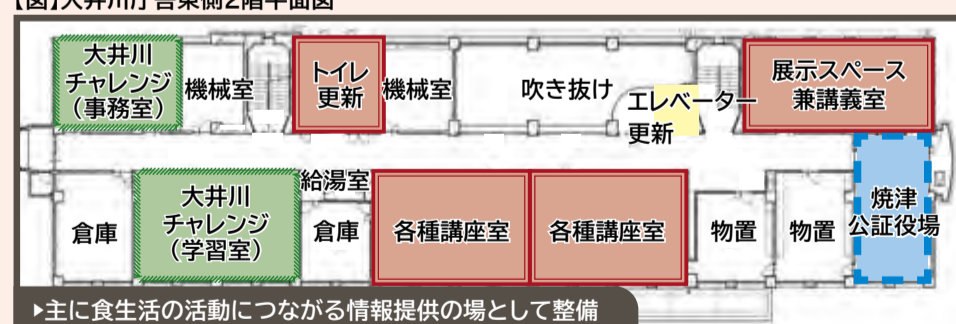


大井川庁舎東側 1～3階

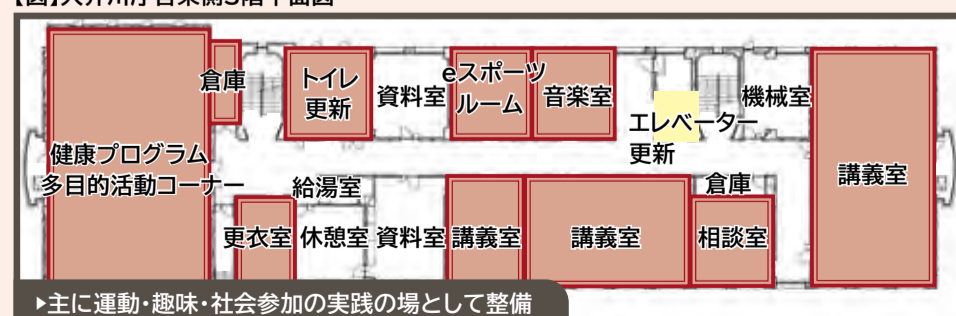
【図】大井川庁舎東側1階平面図



【図】大井川庁舎東側2階平面図



【図】大井川庁舎東側3階平面図



大井川庁舎西側 2階

【図】大井川庁舎西側2階平面図



令和7年
3月13日(木)開設

教育センター

- 教育大綱の理念浸透と授業改善の推進
- 子どもの豊かな学びの創造
- 外国につながる児童生徒の支援
- 魅力ある教師の育成



その勇気が焼津を守る



知って!

入ろう!

消防団

市消防団は、消火活動だけでなく、地震や風水害など大規模災害時の救助救出活動や避難誘導、日頃からの啓発活動など非常に重要な役割を担っています。市民の安全安心のため活躍する市消防団について理解を深めましょう。

また、一緒に活動する団員を募集しています。あなたの力を市消防団で生かしてみませんか。

申込・問合せ 地域防災課 ☎623-2572



市ホームページ



消防団PR動画



総務省消防団ホームページ

消防団ってどんな組織?

火災や大規模災害が発生した時、職場や自宅から現場へ駆けつけ、消火活動や救助活動などを行う市町村の非常備の消防機関です。構成員である消防団員は、本業を持ちながら権限と責任を有する非常勤特別職公務員です。災害

は時と場所を選ばずに発生します。そのような時、多くの市民の命を守るためには消防団員の活躍が必要不可欠です。今年2月末現在、556人の団員(うち女性団員27人)が活動しています。

もっと知りたい!消防団活動

火災や大規模災害が発生した時だけでなく、平常時も地域の防災リーダーとして防災訓練での指導のほか応急手当講習や火災予防活動を行うなど、市民の安全安心を守る重要な役割を担っています。

- 主な活動
- 火災時の消火活動

- 台風や大雨時の水防活動
- 大規模災害での救助・捜索活動
- ドローンによる情報収集
- 地域住民への訓練指導
- 救急講習
- 花火教室
- 夜間火災予防広報
- 各種イベントなどでのPR活動

消防団に入団すると

■入団の資格

焼津市に居住している、または通勤・通学している18歳以上の健康な人などなたでも入団できます。現在も、会社員や自営業、主婦、学生など、年齢や性別、職業を問わずさまざまな団員が各地域の消防団で活躍しています。

随時募集していますので、入団を希望する人はもちろん、消防団に興味がある人や活動内容を詳しく知りたい人も、お近くの消防団員または地域防災課へ気軽に問い合わせてください。

■活動報酬

消防団員には、災害や訓練など

への出勤に対する「出勤報酬」と、年に1回「年額報酬」が支給されます。

■福利厚生

公務災害補償や福祉共済のほか、消防団員がサービスを受けられる「消防団応援の店」制度など、福利厚生が充実しています。

■学生の消防団員活動を支援

通学しながら消防団活動に取り組み、地域社会に貢献した大学生などに対して、その功績を認証し、就職活動を支援する「学生消防団活動認証制度」があります。学生の皆さんも消防団活動にぜひご参加ください。

先輩団員が語る「現場の声」



小泉雅弘さん(第15分団)

学生時代は消防士に憧れていました。違う道に進んだ今でも、消防団員として防災に関ることができて嬉しです。地域の皆さんからの「ありがとう」の声を聞けることを誇りに思います。



川上泰典さん(第8分団)

人を助けられることにやりがいを感じます。移住してきて知り合いが少なかったのですが、団活動を通じてコミュニティが広がりました。地域に貢献できていると感じられる時が一番うれしいです。



放水訓練

ポンプ運用訓練

ドローン操縦訓練

救命講習

自主防救助隊訓練

＼やいづ親善大使 / 瀬戸口みづき先生による マスコットキャラ活躍中

やいづ親善大使で漫画家の瀬戸口みづきさんご協力のもと誕生したマスコットキャラクター「火ノ用ココロ」が、焼津市消防団員として救急講習や各種訓練を通して消防団の活動を紹介しています。



マスコットキャラクター「火ノ用ココロ」